

学力向上だより

新発田市立
中川小学校
学力向上
プロジェクト
NO. 2
H. 19. 6. 25

4月に行われた全国標準学力検査の結果が届きました。どの学年も前学年の内容が身につけている様子がかがえます。学校での授業はもちろんですが、家庭学習の継続も今回の伸びに大きく影響していると思います。お家の方のご協力、ありがとうございます。これからも、よろしくお願いします。

学校では各学年のデータをもとに分析し、今後の指導に生かしていきます。個人の結果とこれからの学習方法については、7月の個人懇談でお知らせします。お家に帰られてから親子で読まれて、よかったところ、がんばるところ、学習のポイントなどを今後の家庭学習の参考にしてください。

資料の見方

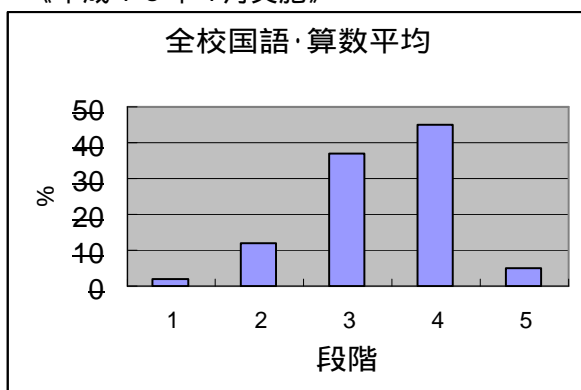
- 1 偏差値平均は、全国を50としてどのくらい高いか、低いかで表しています。50より高いと学力が高いと言えます。
- 2 ()内は18年 4月実施の数値です。(例えば、現3年生は、2年生4月実施)
- 3 標準偏差は、クラスの成績のばらつきを10を基準に表しています。10より小さい場合はばらつきが小さいと言えます。
- 4 領域ごとの数値は、全国平均を100としてどのくらい高いか、低いかで表しています。100より高いとその領域はよく身につけていると言えます。

1 学校全体の傾向

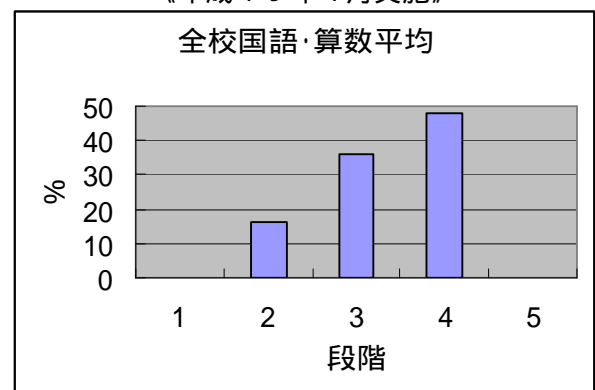
《平成19年4月実施》

	偏差値平均	標準偏差	段階1	段階2	段階3	段階4	段階5
知能	52.4 (52.6)	7.9 (8.1)	0% (0%)	21% (22%)	27% (30%)	48% (44%)	3% (5%)
平均	53.1 (53.0)	7.0 (7.6)	0% (2%)	16% (12%)	36% (37%)	48% (45%)	0% (5%)
国語	52.9 (52.9)	8.0 (8.6)	0% (5%)	12% (8%)	38% (46%)	45% (35%)	0% (6%)
算数	53.3 (53.0)	7.8 (8.3)	0% (2%)	12% (11%)	34% (37%)	48% (45%)	0% (5%)

《平成18年4月実施》



《平成19年4月実施》



グラフからもわかるように、散らばりが小さくなりました。

1段階の児童がいなくなり、2段階以上にレベルアップしました。

2 大領域ごとの傾向

国語

	2年	3年	4年	5年	6年
話す・聞く	82	106 (108)	108 (108)	90 (102)	111 (102)
書く	87	112 (116)	127 (122)	106 (103)	106 (94)
読む	83	118 (145)	127 (114)	105 (101)	99 (91)
言語	109	111 (107)	111 (115)	124 (119)	121 (116)

- 昨年度の結果と比べると伸びた領域が多いです。(太字が伸びたもの)
- 「話す・聞く」領域が少し弱いようです。チャレンジスピーチで鍛えます。
- 「読む」領域は昨年度より伸びが見られます。読書や音読に力を入れた結果が表れました。今後も読む力を鍛えていきます。
- 昨年度に引き続き「言語」領域も全国平均以上です。毎時間の漢字指導や全校テストの成果が表れていると考えられます。

算数

	2年	3年	4年	5年	6年
数と計算	106	99 (107)	114 (110)	123 (112)	98 (111)
量と測定	108	113 (100)	106 (112)	125 (113)	86 (103)
図形	100	120 (106)	114 (114)	111 (114)	89 (103)
数量関係			112	114 (111)	118 (107)

- 全学年、全領域を通して見ると、ほとんど全国平均以上です。毎日の授業や全校テストの成果が表れていると考えられます。
- 「数と計算」領域は、ほぼ全国平均です。今後もチャレンジ計算などで力をつけていきます。
- 「量と測定」「図形」領域もほぼ全国平均です。今後も、実際に測ってみたり図形を作図してみたりと、算数的な活動を授業に取り入れていきます。